

未来をひらく 思いをつたえる

Hirakû

22

表紙：クラフト“夏野菜のダンス”

元気いっぱい、色とりどりの夏野菜のおともだち。

夏の太陽を浴びて、力いっぱい Jump! Jump! Jump!

カゴから飛び出す野菜たちの表情がとてもかわいらしいですね!

アイデアを お待ちしております!

「Hiraku」では、英語・幼児教育の最新ニュースやトピックなど皆さまに役立つ情報をお届けいたします。

- ・最近気になっていること
- ・取り上げてほしい話題
- ・新しいコンテンツ etc...

皆さまからのご意見・ご要望を
お待ちしております!

「Hiraku」編集部

TEL : 06-6135-0150

Mail : hiraku@kinderkids.ed.jp

Hirakû

2022年7月発行 Vol.22

次回9月末
発行予定

株式会社キンダーキッズ

TEL : 06-6135-0150

〒530-0033 大阪市北区池田町3-1

ぶらら天満ビル2F

www.kinderkids.com



★インフィニティ初等部レポート

★卒園生インタビュー(高2英検1級/IELTS7.0取得)

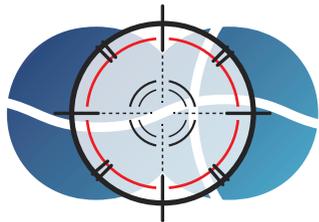
★スタッフインタビュー

(日本人スタッフ英語テスト2年連続1位)

★Grad Club British Hills イベントレポート



日本の心と、英語の力。Kinder Kids inc.



FOCUS!
INFINITY GLOBAL SCHOOL

インフィニティ初等部 プロジェクト学習

今回は初等部のプロジェクト学習
「レモネードスタンドプロジェクト」
についてご紹介します。



教育長 中山 瑛文

まずプロジェクト学習とは何かという事なのですが、「プロジェクトを通した、社会とつながりのある学習」です。少しイメージを持ちにくいかと思いますので、逆に社会とつながりのない学習を考えてみましょう。皆さん、中学高校の頃、数学で因数分解について学びましたよね？因数分解について学んでいる時、こんな気持ちだったのではないのでしょうか？「なんでこれを学ぶの？」「どこで使えるの？」これが「社会とつながりのない学習」です。ただの丸暗記で、どこで使うか分からない知識の詰め込み学習です。

それに対してプロジェクト学習では、例えば因数分解を学ぶとするとこうなります。「レモネードを売る」というプロジェクトで顧客を因数分解して男・女・年齢・収入に分ける。プロジェクトを通して実体験を元に学ぶ事で、「自分が学んでいる事は社会で役に立つんだ」という意識を持って学んでいけるので、学びが楽しくなりますし、学びの定着もしやすくなります。

今回のレモネードスタンドプロジェクトでは、地域の人々にももの売を通して、お金、社会について学ぶことを目的に実施しました。

「レモネードスタンドプロジェクト」の横断学習

理科

**レモネードを
実際に作ってみる**

砂糖の溶解度
どの位の甘さが丁度いい？



算数

**原価計算と
売価決定**

一杯いくらかかる？
いくらで売るとたくさん売れて
利益が出る？



コミュニ
ケーション

市場調査

周囲の人に
いくらなら買うか
調査



表現力 **チラシ作り**

オンライン
デザインツールで
制作



図形

工作

座席作り

ダンボールでお客様用の
椅子を作る

コミュニ
ケーション

お金の
教育

レモネードを販売

家族や知人を発表会に招待して販売、
おつりや売上集計などお金の計算

社会

**利益をどのように
使うかを考える**

今回は利益を寄付する
という意見が上がりました。



このように教科を横断的にプロジェクトを通して学べるので、各教科で学ぶ事が実際の社会に役立つという実感を持って学べます。プロジェクト学習を通じて子どもたちが社会のつくり手として仲間や教師と共に学ぶことの楽しさと大切さを感じてほしいと願っています。



2023年度 入学児童募集要項は
初等部ホームページ又はKinder+でご確認ください。

大阪市天王寺区烏ヶ辻1丁目 2-22
(キンダーキッズアカデミー天王寺夕陽丘校と併設)

HP



Kinder+





My Stepping Stone <File3>

スタート地点はキンダーキッズ。卒園後、自らの力で切り開いたフィールドで、奮闘している卒園生をご紹介します。

英検1級合格 & IELTS7.0獲得 将来は海外に拠点を置き 環境問題に取り組む仕事をしたい

大阪本校
卒園生 R.Aさん

大阪府内
私立高等学校
3年生



【R.Aさんプロフィール】

2011年キンダーキッズ大阪本校卒園。小学1年生で英検準2級、3年生で2級に合格。グラッドクラブ第1回イングリッシュスピーチコンテスト3位、第2回2位受賞。『劇団ひまわり』で子役として活躍し2012年『キンダーキッズミカ吹田校』のVPに出演。昨年高校2年時に大阪府が運営する『2021年度 おおさかグローバル塾』に合格。ディスカッションやディベート、プレゼンテーションで英語でのコミュニケーション力を高め、イギリスのリーズ大学の講義をリモート受講。高校2年時にIELTS7.0と英検1級を取得。

キンダーキッズでの思い出

キンダーキッズではさまざまな行事や遠足を通じて豊富な経験をしたことが一番印象に残っています。毎月の遠足でぶどう狩りや雪遊びに行くのが本当に楽しみでした。クリスマスやハロウィンなど海外の行事だけではなく、お正月や節分、ひな祭りなど日本の行事についても授業を通じて学び、また行事にちなんだクラフトの制作やお絵描きをしながら、友達と一緒に楽しんだことを鮮明に覚えています。

卒業後の自身の英語力

小中高と、英語に特化しているわけではない学校に通いましたが、Grad Clubに週1・2回通うことで英語力の急低下や英語離れを防ぐことができました。ネイティブの先生たちと話し、文法や読解の授業を受けたことは、英語力維持に大きく寄与したと思います。またディズニーチャンネルなどの海外アニメを見るなど、自ら英語のメディアに触れ、海外の文化は英語で学ぶことが日常となっていました。今でもyoutubeやtiktokなどのSNSは全て海外のものを中心に見て、英語を学ぶというよりも、ごく自然に英語を使って世界の情勢を知り、情報を得ています。

※おおさかグローバル塾
大阪府が実施する
高校生等海外進学支援事業

英検1級で難しいと感じた出題項目

語彙問題が特に難しいと感じました。どれだけ英語に慣れていても、英検一級は専門的な単語や硬い表現がよく出題されるので、初めて過去問を見たときは知らない単語ばかりでした。試験対策は短期間集中とし、試験1ヶ月ぐらい前から他の勉強を最小限にして単語の暗記に注力。時間があれば単語帳を見て、音声を聞きながら音読をして暗記をする生活を繰り返しているうちにだんだん出題される単語がわかるようになってきました。友達と遊びに行く時も隙を見つけては単語の暗記に取り組んでいました。

IELTS受験の目的と試験対策

大阪府が主催する『おおさかグローバル塾』^{*}にて、一年間の授業の成果を確かめるために受験が必須であったので受けました。対策は週一回3時間の授業内で行いました。ライティングの書き方や、スピーキングの対策などアウトプットの授業が多かったです。



当時の大阪本校マネージャーと11年ぶりの対面

今後学びたいこと・就きたい仕事

将来大学では、経済学を専攻してお金の仕組みについて学びたいです。特に『おおさかグローバル塾』で留学生たちと環境問題についてディスカッションして関心を深めたので、「環境経済学」を専攻し、環境問題やSDGsへの取り組みがどのように経済効果を生み出しているかを学びたいと考えています。その後は大学で培った知識と得意な英語を活かして、海外に拠点を置き、環境問題の解決へ向けて貢献しているような企業で働き、いずれ起業したいと思っています。

後輩たちに向けてのメッセージ

中高に進学し、日本ならではの英語教育がキンダーで受けてきたものとまったく違い、戸惑うかもしれません。でも義務教育の英語が簡単過ぎるからといって、決して勉強をおざなりにせず常に謙虚に新しいことを学ぶこと、そして何より英語を楽しんで自然に自分の生活に取り入れることが一番大切なことだと私は思います。

Rさんのお母さまより

娘の個性の基本が キンダーで育まれたと確信

キンダーキッズ入園の決め手は、先生方が言葉に表して、また体全体で表現して、子どもたちを思いきり褒めてくださることでした。「Perfect! Great!」とハグして子どもたちに伝えて下さる姿は、愛をもって子どもの良さを最大限に引き上げてくださっていると感じました。娘は愛されていることが自信となり、また沢山褒めてもらえるように頑張り、活き活きと過ごしていました。人格形成の時期でもある2歳からの4年半をキンダーキッズで過ごせたことで、朗らかさ、大らかさ、前向きさを育み、また自分の意見を持ってそれを伝えることのできる力をキンダーキッズで培われたと確信しています。卒園して10年以上が経ち、高い英語力、日本の心を大切にしながらグローバルな感性、主体性、リーダーシップ性などの資質もキンダーキッズで育てられたのだと思うと、本当に入園させて良かったと、改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

社内日本人スタッフ英語テスト 2年連続成績1位を達成!

大阪ベイ校 城月 まい



ー社内日本人スタッフ英語テストでの2年連続成績1位達成おめでとう
ございます。この結果について率直なお気持ちをお聞かせください。

ありがとうございます。まわりの皆さんから、常にあたたかいサポートを頂
いているおかげだと思っています。これを励みにこれからも精進したいです!

ー入社後の英語勉強法をお教えてください。

クラスパートナーやまわりのスタッフとたくさん話してコミュニケーション
を取ったり、アメリカに住んでいたころの友人と今でも頻りに話したりし
ています。またYouTubeやNetflixなどで、興味のある英語の動画や映
画もよく見えています。



ー子供の頃の英語に関するエピソード・思い出はありますか?

小学生の頃、仲の良い友人宅にホームステイしていたオーストラリアの
女の子と何度か一緒に遊ぶ機会があり、初めて英語や外国の文化に触
れ興味を持ちました。彼女がオーストラリアに帰った後もEメールでやり
取りを続けたことを今でも覚えています。

ーキンダーキッズに入社を決めた理由を教えてください。

子どもと関わることが大好きで、大学時代は小学校の学童施設やイン
ターナショナルスクールのサマープログラムでアルバイトをしていました。
留学で学んだ英語や言語学をフルに生かしたいという希望にキンダー
キッズはぴったりだと感じました。



ー仕事をする上で心がけていること、やりがいを感じることはなんですか?

大切な子どもたちを預かっているので、第一に安全な環境作りを心がけ
ています。そしてのびのびと安心して過ごせるよう子ども達の気持ちに
寄り添うこと。また好きなことや興味のあることを知るために普段からた
くさん話することも大切だと思っています。

いつも泣いていた子がたくさん笑うようになったり、できなかったことが
できるようになったりと、日々の成長を間近で見られることに非常にやり
がいを感じます。日頃、保護者の方々からも多くのことを学ばせてもらい、
またあたたかくサポートしていただき、とても感謝しています。

ー今後、チャレンジしてみたいことはありますか?

今年度から保育士スタッフ英語レッスンのチームに参加することになり
ました。私自身にとって新しいチャレンジであり、スタッフの英語学習に対
するモチベーションアップに少しでも役立ちたいと思います。



～パスポートのいらない英国～

British Hills

中世英国の街を再現した広大な敷地に一步入ると、まさに「ハリー・ポッター」のような英国の世界。
スタッフの多くは英国出身者で、敷地内ではイングリッシュオンリーポリシーの環境で英語のみを使用。
中世英国にタイムスリップしたようなブリティッシュヒルズで、英国留学の擬似体験をしてきました。

1泊2日で盛りだくさんのアクティビティを通じて

英国の歴史や文化を深く学んだブリティッシュヒルズ。

1日目はあいにくの雨でしたが、建物の周りには霧がかかり、

まるで本当にイギリスに来たように感じられました。

伝統的なペインティング技法である“Fabric Painting”を

用いてオリジナルのトートバッグ作りに挑戦したり、

Table Mannerを学んでディナーで実践。

伝統的なBritish sportsへの挑戦では

初めて体験するクリケットでとても盛り上がり、

苦戦しながらもチーム一丸となって楽しむことができました。

また、British Hillsオリジナルマントを羽織ることで

ハリー・ポッターの世界観を楽しむことができ、

子どもたちもおおはしゃぎで楽しんでいました!

